

世界は不確実性が高まり、先行きを見通しにくい時代となった。そうした環境で大切なものを守り、前に進むために必要なことは何か。第65代横綱の貴乃花光司氏、東京大学名誉教授の伊藤元重氏、セキュアソフト代表取締役社長の姜昇旭氏が、それぞれの経験や知見を生かして縦横に語り合った。司会はTVコメンテーターの南美希子氏が務めた。

鼎談

—大切なものを守り抜く—

変容する日常の中で

南 コロナ禍などにより社会や日常が変容する中で、いかに大切なものを守るかがキーワードとなっています。伊藤 安心・安全に暮らせること、当たり前のように医療を受けられることの大切さを改めて痛感しました。空気の存在が鍵になります。当社グループはITエンジニアの育成に注力し、お客様のシステムを24時間365日体制で守る総合セキュリティサービスを提供しています。



姜 リモートワークが急速に広がるなど劇的な変化が起きています。新しい環境に対応したセキュリティが不可欠です。そのためには、対策を適切に維持・運用する人の存在が鍵になります。当社グループはITエンジニアの育成に注力し、お客様のシステムを24時間365日体制で守る総合セキュリティサービスを提供しています。

チャレンジ忘れず 安心・安全を提供 姜氏

前に進む精神力育てる

南 どのように「人」を育てるか今後の焦点になりそうです。貴乃花さんは「貴乃花道場」を開設しました。貴乃花 これからの日本、そして世界を生きる若者達のために、健全な身体、人間



貴乃花 CCMの撮影で御社グループのセキュリティオペレーションセンター(SOC)にお邪魔しましたが、宇宙船のような最新鋭の施設で驚きました。大切なものを最後に守るのは「人」であり、環境の変化に応じて進化していくのも「人」だからこそだと感じています。

どんな土俵も人が主役



「土の文化」通じ 生き抜く力養う 貴乃花氏

だしの文化は、世界に通用する価値観だと思います。姜 当社グループの人材教育では、社会人としての礼儀作法の指導や技術教育、IT資格取得などを徹底するだけでなく、精神面のケアも重視しています。今年度は79人の新入社員を迎えました。彼らを育てるのは企業としての責任であり、厳しい環境を乗り越えられる精神力を養うことは、企業にとっても本人にとっても有益です。伊藤 IT人材の重要性は増すばかりなので、新入社員



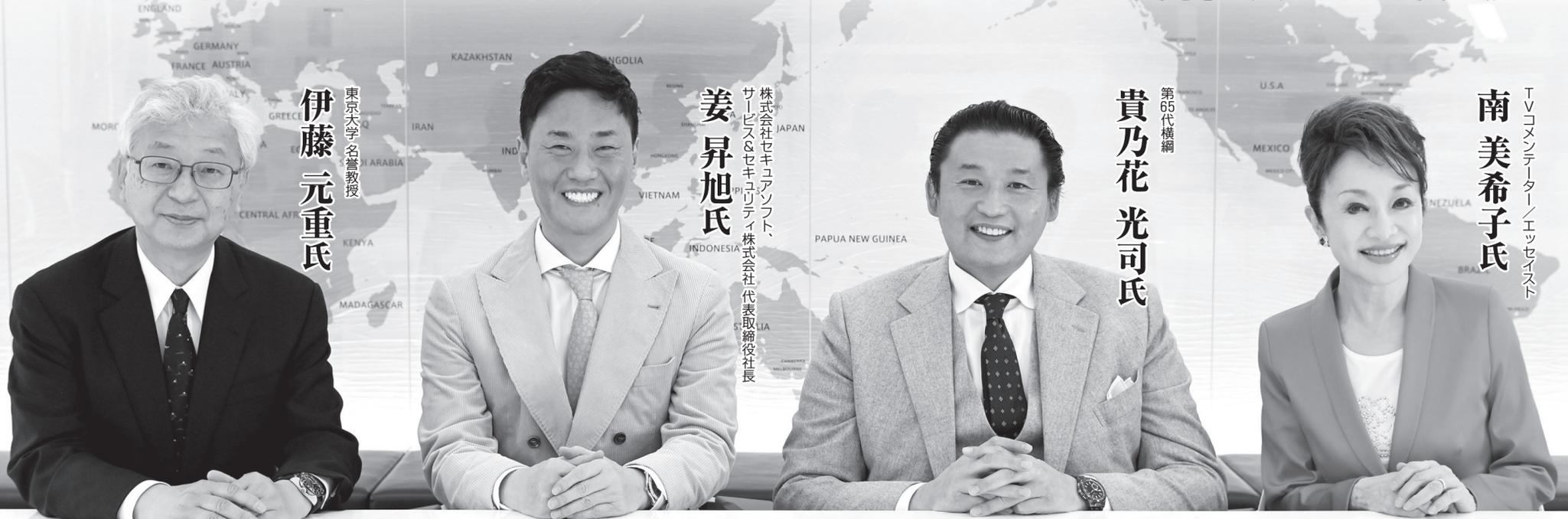
の成長は社会にとっても望ましいことです。周囲に自分と同じように頑張る人がいるから自分も頑張れる。そうした健全な仲間意識や競争意識を持つコミュニケーションづくりが求められます。南 貴乃花さんは入門時、本当に強くなりたいなら孤独に耐えなければならぬと師匠に言われたそうですね。貴乃花 はい。努力は当たり前のことをするのであって、必ずしも報われるものではないことを教わりました。その孤独な戦いを続けることで

求められる原点回帰

南 これまでの常識や生活様式が通用しないニューノーマル(新常态)に、どう立ち向かえばいいでしょうか。伊藤 先行きが見えない不

最も重要なこと 明確にして歩む 伊藤氏

が精選となり、専門分野での成長や人間力を磨くことになるとの思いです。姜 貴乃花さんの相撲道の精神を我が社の社員たちにも伝えてほしい。若いうちに必要な基礎をしっかり固めるのだと思います。ほいとい願っています。伊藤 長い人生には、大きな決断を伴う転機が幾度かあるものです。人間としての確固たる基礎があればこそ、好機をつかみ、前へ進んでいくのだと思います。べきものが明確であれば、ぶれることなく前進できます。貴乃花 同感です。これからますます原点回帰が求められると思います。環境の変化で得るものもあれば、失うものもありますが、それらを自分がかどう捉えて前へ進んでいくかが問われます。姜 新常态においてもセキュリティを確保し、企業活動や日常生活の安心・安全を守ることが当社グループの使命です。チャレンジ精神を忘れず、新しい技術やアイデアを吸収していきます。伊藤 御社グループは経営者を多く雇用し、一人前育てあげること熱心です。そこに会社の原動力、強さの秘密があると思います。貴乃花 これからも皆さんと経験を共有しながら、共に成長していければと思っています。



伊藤元重氏
東京大学名誉教授

姜昇旭氏
株式会社セキュアソフト、サービス&セキュリティ株式会社代表取締役社長

貴乃花光司氏
第65代横綱

南美希子氏
TVコメンテーター/エッセイスト

(いとう・もとしげ) 経済学博士。専門は国際経済学。東京大学大学院教授を経て2016年4月学術院国際社会科学部教授、6月東京大学名誉教授。2013年より6年間にわたり経済財政諮問会議の議員を務めるなど、政策の実践現場で多数の実績を有する。住友化学、静岡銀行などの社外取締役も兼務。セキュアソフト顧問。著書多数。

(カン・スンウク) 東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。2002年株式会社セキュアソフトを立ち上げ、代表取締役社長に就任。15年にはサービス&セキュリティ株式会社の代表取締役社長、21年3月新たにAnyKan株式会社を立ち上げ、現在、株式会社セキュアソフトを含む3社の社長を兼務している。

(たかのはな・こうじ) 入門当時からその優れた素質が話題となり、前評判に違わず数々の最年少記録を打ち立てる。18歳で当時の横綱、千代の富士を破り、20歳で大関、22歳で第65代横綱に昇進した。幕内優勝22回など数多くの記録を残した「平成の大横綱」。現在は一般社団法人貴乃花道場の理事などを務める。

(みなみ・みきこ) 聖心女子大学3年在学中にテレビ朝日アナウンサー試験に合格。1977年テレビ朝日アナウンサー部入社。女性アナウンサーとして初めてバラエティ番組に出演した。1986年に独立。以来、テレビ・ラジオ・講演・シンポジウムのコーディネーターやMCなどで活躍。著作物は共著・監訳書・文庫を含め29冊に上る。

お問い合わせはこちらから!
TEL 03-5464-9966
E-Mail: sales@securesoft.co.jp
SSI: https://www.securesoft.co.jp/
SSK: https://www.ssk-kan.co.jp/



株式会社セキュアソフト



サービス&セキュリティ株式会社

広告